



伊豆市

議会だより

No.32

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 **2012.5.1発行**



土肥松原公園

直径31メートルの花時計は、平成3年に完成し、翌年「世界一の花時計」として、ギネスブックに認定されました。タイルと季節の草花で彩られた時計の外周は、大きさや形の違う石が並べられ、足裏のツボが刺激される「健康歩道」となっています。

目次 CONTENTS

- 3月定例会の概要 2
- 委員会審査 6
- 一般質問 8
- 6月定例会の予定 12

平成24年度 一般会計・各特別会計予算を審議・可決 一般会計予算は、152億2,300万円になりました

24年3月定例会を、2月16日から3月15日まで29日間の会期で開催しました。平成24年度一般会計予算のほか、特別会計予算16件、23年度補正予算4件、条例の制定と一部改正12件、その他4件、人事案件9件が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、「修善寺老人憩の家に関する請願書」は、請願項目2件のうち1件のみが採択となりました。また、「年金支給額減額に反対する意見書採択の請願書」は採択となり、委員会発議による意見書が提出され、採択となりました。

平成24年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

会計名		24年度当初予算	23年度当初予算	比較
一般会計		152億2,300万円	146億6,200万円	5億6,100万円
特別会計・企業会計	公共用地取得事業特別会計	167万円	7,297万円	▲7,130万円
	国民健康保険特別会計	47億3,850万円	46億2,970万円	1億880万円
	後期高齢者医療特別会計	3億8,560万円	3億2,394万円	6,166万円
	介護保険特別会計	28億7,985万円	28億3,819万円	4,166万円
	簡易水道事業特別会計	2億8,820万円	9,810万円	1億9,010万円
	下水道事業特別会計	19億2,470万円	21億4,300万円	▲2億1,830万円
	農業集落排水事業特別会計	1億2,900万円	1億3,040万円	▲140万円
	上水道事業会計(収益的支出)	5億1,620万8千円	5億3,708万円	▲2,087万2千円
	温泉事業特別会計(収益的支出)	7,331万5千円	7,163万7千円	167万8千円
	湯の国会館事業特別会計	(廃止) 0万円	8,210万円	▲8,210万円
	財産区特別会計(7財産区)	469万円	849万円	▲380万円

条例

◆伊豆市暴力団排除条例の制定
県の条例制定を受け、市も連携し、市民の安全や社会経済活動の発展に貢献することを目的とする。

◆伊豆市国民健康保険税条例の一部改正
一般会計繰入金が多額であり、加入者負担として、課税限度額の引き上げと、税率を改正。

◆伊豆市税条例の一部改正
東日本大震災からの復興に関連し、26年度から10年間、個人市民税に限り、均等割の額に500円が加算される等の改正。

◆伊豆市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
東日本大震災に関連し、国の災害弔慰金の支給範囲が拡大されたことに伴い、市も同様とする改正。

◆伊豆市介護保険条例の一部改正
第5期介護保険事業計画に基づき、24年度から26年度までの保険料を改定。

◆伊豆市総合会館条例の一部改正

土肥総合会館は、指定管理から直営に、修善寺総合会館は、料金を使用料制に変更。

◆伊豆市運動施設条例の一部改正

小学校再編に伴い、土肥南・大東・八岳の旧小学校体育館を、屋内体育施設に変更。

その他

◆公の施設の指定管理者の指定
(修善寺総合会館)

24年4月から26年度まで、修善寺総合会館運営委員会を指定管理者とする。18年4月から継続。

◆公の施設の指定管理者の指定
(湯の国会館)

24年7月から28年度まで、(株)サリアメニティに管理運営を委託。

◆公の施設の指定管理者の指定
(狩野川記念公園)

24年4月から28年度まで、(株)サリアメニティに管理運営を委託。19年10月から導入。

◆専決処分の追加指定について

地方税のように滞納処分ができない水道料、各種使用料、授業料、学校給食費等の未納債権について、議会の議決を得ずに、法的手続きができるようになった。

人事

◆伊豆市・伊豆の国市公平委員会委員の選任

任期満了に伴い、木戸英寿氏(伊豆の国市)を選任することに同意。任期は、平成24年4月1日から4年間。木戸氏は再任。

◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、大澤典明氏(下船原)が候補者になることに同意。任期は、平成24年7月1日から3年間。大澤氏は再任。

◆財産区管理委員の選任

持越・市山・門野原・吉奈・月ヶ瀬・田沢・矢熊の各財産区管理委員の選任に同意。任期は、いずれも平成24年4月1日から4年間。

請願

◆「修善寺老人憩の家に関する請願書」

熊坂にある修善寺老人憩の家に ついて、①入浴料金の無料化と②閉館時間の延長を求める請願書が出され、福祉環境委員会に審査が付託されました。

委員会では、紹介議員から請願理由と内容の説明、担当課から利用者アンケートの結果と報告が行われ、紹介議員への質疑後、①と②を別々に審査・採決しました。

①に関する意見

・施設内のカラオケや部屋は無料であり、他の温泉施設との公平性と、維持管理費用の面から、入浴料200円の負担は必要。

・アンケートを見ると、100円を希望する人が多く、立場の弱い人を支援する考え方で判断を。

・近くに温泉施設があるのは、恵まれていて。100円ならば利用しやすいとのアンケート結果もあり、無料には賛成できない。

・22年度に無料から有料となり、4割強の人しか利用しなくなったことを受け止めるべき。

②に関する意見

・アンケート結果は、時間延長の希望が圧倒的に多く、考慮すべき。利用者の利便性から、夏時間、冬時間を設けてみてはどうか。

・市は、24年度に閉館時間の延長を試行する予定で、対応できる予算も編成されており、賛成する。以上の審査の後、①は賛成少数

で「不採択」、②は全会一致で「採択すべきもの」となり、②については、会議規則の規定に基づき、処理経過と結果の報告を市長に請求することにしました。

この審査結果は、委員長により議会最終日に報告され、委員長に対する質疑1件、反対討論3件の後、採決されました。

その結果、委員会の審査結果に賛成する議員が多数となり、②のみを採択とする「一部採択」となりました。

◆「年金支給額減額に反対する意見書採択の請願書」(関連11頁)

福祉環境委員会で審査した結果、全会一致で「採択すべきもの」となり、議会最終日の採決でも全会一致で、採択となりました。

3月定例会の賛否表

件名	議決結果	鈴木初司	梅原泰嗣	稲葉紀男	森島吉文	松本 覺	西島信也	杉山 誠	内田勝行	関 邦夫	大川 孝	森 良雄	古見梅子	塩谷尚司	室野英子	飯田正志	鍵山堅一	飯田宣夫	三須重治	木村建一
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

予算関係

平成23年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度伊豆市一般会計予算	可決	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
平成24年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成24年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成24年度伊豆市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成24年度伊豆市簡易水道事業特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度伊豆市下水道事業特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度伊豆市上水道事業会計予算	可決	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成24年度伊豆市温泉事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度伊豆市財産区特別会計予算(7財産区一括)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

条例関係

伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
伊豆市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
伊豆市立学校設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

その他

公の施設の指定管理者の指定について(湯の国会館)	可決	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について(狩野川記念公園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
修善寺老人憩の家に関する請願書	一部採択	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
専決処分の追加指定について	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長(杉山晃央)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません

※3 全会一致となった議案・意見書等は、掲載していません

討論

採決が分かれた議案のうち、活発に討論が行われた2議案の討論は次のとおりです(要約)

24年度一般会計予算

《反対討論》

・こども医療費助成を中学3年生までに拡大することや、近隣にない病児病後児保育事業の開始などは評価するが、人口が減っている伊豆市にとって深刻な問題は、圧倒的に子供が少なく、若者が住みづらいことである。間接的にでも所得や人口を増やす政策が必要で、不十分である。

・土肥こども園に建設する津波避難タワーは、更なる安全と園の移転も含め、再検討を求め。また、食肉加工センターは赤字事業、中伊豆中学校体育館の建て替えは統廃合との整合性がなく、賛成できない。天城会館の指定管理の内容等にも疑問がある。

・防災ラジオ配布等、評価すべき点もあるが、人口減少に対する政策予算が見当たらない。また、天

城会館指定管理料には疑義があり、津波避難タワー建設、下水道会計や農業集落排水会計への繰入金、学校再編成には反対である。

・天城会館の指定管理料の内訳は、公共性から逸脱しており、観光協会や展示委託している業者に対して疑問がある。また、大幅な増額は、世の中の流れに逆行しており、無駄な投資である。

・人口が減少している中、借金が増えている予算であり、削減されない人件費、安全が確保されない学校再編、正確な津波予測が発表される前に建設される避難タワー、駅舎だけが立派になる修善寺駅周辺整備事業など、賛成できない。

《賛成討論》

・増額の要因は、焼却施設の老朽化に伴う大規模な修繕、新し尿処理施設建設工事、修善寺駅周辺環境整備があるため、新規事業として病児病後児保育、高齢者割引乗車証購入助成、防災ラジオ配布等もあり、市民生活に欠かすことができない、将来を見据えた予算措置がされている。

・第1次総合計画後期基本計画に掲げた事業の実施と、市民生活に

欠かせない継続的な事業を盛り込んだため、前年度よりも増額となったもので、無駄を省き、少ない財源で必要な事業を盛り込んだ予算だと評価する。

・大きく変動する社会情勢の中、合併後の市民生活や住民意識の変化に着目し、住み続けたくなるまちづくりに向け、推進された基本的な施策が盛り込まれていると期待する。また、将来を見据えた市民生活向上のため、公平・公正な行政運営と予算の執行を求める。

公の施設の指定管理者の指定 (湯の国会館)

《反対討論》

・青羽根振興会では、一般財団法人に移行するなど、指定管理受託に向けた準備をしてきた。地域活性化の軌道より大きく外れた結果と受け止め、反対する。

・指定管理者審査会の選定基準6項目のうち、地域振興に関する考え方等の評価は、総合計200点中30点で、これでは地元の熱意を評価することができず、改めて選考を再検討する必要がある。

・青羽根振興会理事らから聞いた話もあり、議案質疑での市長答弁は信用ができず、白紙にすべきである。

・審査会委員に湯の国会館への納入業者がいることや、個々の採点が特定できないやり方には納得できず、透明性に欠ける。

《賛成討論》

・23年9月議会で湯の国会館条例の一部改正を審査する際、指定管理者は公募により選定すると説明があり、全会一致での可決であった。その後、指定管理者審査会が応募4社を審査し、1社を候補としたことに問題はないと考える。

・湯の国会館を指定管理者制度に移行するため、23年9月議会で指定管理者を公募したいがどうかという提案があり、条例の一部が改正された。議会として決めた責任があり、特別な理由がない限り、公募が原則と考える。審査会の内容も問題はないと判断する。

・タウンミーティングにおいて、市長が地元指定管理を約束したという記録はなく、公募から審査会審査までの手順は、ルールに沿った公正なものだと判断する。



委員会の議案審査で
次のような質疑がありました

総務教育委員会

◆24年度一般会計予算

問 同報無線と防災ラジオの関係について説明を。

答 土肥・中伊豆地区には戸別受信機が入っていますが、天城地区は一部、修善寺地区にはほとんど入っていないので、同報無線を聞くことができる防災ラジオの配布を予定しています。

購入希望者の個人負担は、千円を予定しています。

問 図書館の任期付短時間勤務職員給について、今までの違いは。

答 今までの臨時職員は時間給賃金で、期末・勤勉手当の支給はありませんでしたが、任期付短時間勤務職員は、一般職に準じた給料と、一般職と同月の期末・勤勉手当が支給されます。

任用期間は、臨時職員は1年以下でしたが、任期付短時間勤務職員は3年になります。

◆24年度財産区特別会計予算

問 収入が少ない財産区の存続について、財産がなくなった時点で解散はできるか。

答 財産区が解散するには、一つには財産がなくなるのが条件なので、預金も含め、一度市に寄附していただければ解散できます。

さらに、認可地縁団体等を作りが戻すことができ、他の認可地縁団体と同じ取り扱いになります。

◆伊豆市暴力団排除条例の制定

問 県の条例があるのに、市も条例を制定することのメリットは。

答 県も市町村と同じ地方公共団体ですので、県だけでなく、市も一緒に力を合わせてやろうという意思を、新たに表明するという効果が一番強いと思います。



◆公の施設の指定管理者の指定

(狩野川記念公園)

問 指定管理者の選定について、公募ではなく、継続とした理由は。

答 指定管理者の業務実績に関する評価の結果、おおむね健全な管理運営が行われているとの判断と評価でした。また、利用者へのモニタリング結果からも、公募によらない手続きとしました。

これは、最初の指定期間の経営や管理状況が良ければ、1回に限り、公募によらないで管理をすることができるという規定に基づいています。

福祉環境委員会

◆24年度一般会計予算

問 コンビニ収納導入試験委託料の内容は。

答 25年度から、軽自動車税についてコンビニでの収納を予定しています。24年度は準備期間となります。

口座振替の手数料10円に対し、コンビニ収納の手数料は60円前後と高いようですが、利便性から納税効果も期待されますので、近隣

市町と足並みをそろえて、手数料を下げられるように、業者と交渉する予定です。

問 4月に開園することも園「あゆのさと」と市の関わりは。

答 私立こども園運営負担金として、保育園分と幼稚園分を補助します。また、国や県からも保育園の運営費、幼稚園の授業料と給食費に対して補助があるので、市をおして支払います。

また、病気の回復期にある子供を預かる病後児保育事業を実施し、育児や家庭の相談を受ける子育て支援センターを設置します。

なお、保育料、授業料、給食費は、市の一般会計に納入されます。



▲認定こども園「あゆのさと」

◆24年度国民健康保険特別会計予算

問 特別に計上した事業があるか。

答 直接的ではありませんが、医療費の削減策として、ジェネリック医薬品希望カードの作成費用を計上しています。

ジェネリック医薬品については、23年度から広報等により周知していますが、24年度は、医師会等の承諾も得た上で、希望カードを作成し、配布する予定です。

(注)新薬の特許が切れた後に、別の製薬会社が製造・供給する医薬品のこと
で、一般的に価格が安い。

◆24年度介護保険特別会計予算

問 保険料の値上げと、準備基金取り崩しについて説明を。

答 準備基金の残高は、24年度末で1億9千万円余りの予定ですが、これを取り崩しても、現在の保険料額では賄いきれません。

26年度までの計画の中に、特別養護老人ホーム70床の計画と給付が発生しますので、段階的に3年間で約1億3千万円を取り崩す計画になっています。

◆国民健康保険税条例の一部改正

問 保険税の引き上げについて、国保運営協議会からは、どのような意見があったか。

答 「毎年上げるんですね」と言われています。

伊豆市の被保険者負担は、他市町に比べ低いので、国民健康保険の広域化が具体的になった時に、上げ幅が大きくなる懸念がある中、これらを解消するためにも、改定が必要と考え、お願いしました。

医療費が削減されるよう、健康増進事業に力を入れてもらいたいという意見がありました。

経済建設委員会

◆24年度一般会計予算

問 土肥地区の市有林植栽に、クヌギを選定した理由は。また、補助事業との関係はあるか。

答 針葉樹は、過去の台風被害の状況から見ても、災害が起こりやすいので、針葉樹よりも利用度が高い、クヌギやコナラといった広葉樹を選定すれば、補助事業の対象となります。

問 商品券発行事業は、小規模店舗の支援になっているか。

答 お金を市内で循環させるといふ目的は、達成していると考えていますが、一部の店舗に片寄っている等の意見もありますので、商工会とともに、対応を考えていかなければならないと思っています。

問 牧之郷公園の工事について、どのような整備になるか。

答 閉園した牧之郷幼稚園の遊具はそのまま残し、ゲートボール場を2面、休憩場所として日陰棚(パーゴラ)も必要だと思っていますが、他の構造物は考えていません。場所が広いので、高齢者が利用する所と子供が遊ぶ所は、分けられると考えています。



▲公園に整備される予定の旧牧之郷幼稚園

◆24年度上水道事業会計予算

問 漏水以外の老朽管更新計画は。

答 24年度は、非常に危ない所、最優先に更新が必要な所を予定しています。

なお、中伊豆地区では、漏水工事が多いため、地区からの要望で行う所もあります。

◆公の施設の指定管理者の指定

(湯の国会館)

問 湯の国会館が出来るまでの経緯について、把握しているか。

答 経緯は把握しており、指定管理審査会、市営施設運営委員会、部長会へ報告しています。

23年6月、地元振興会から要望書が出されたこともあり、審査ポイントは、地域振興に対する考え方を30点の配点と、配慮しました。

問 審査会の結果からは、各々の審査委員を特定することができないが、方法としていかがか。

答 審査会として答えを出すことを求められていますので、審査会の性質上、個々の委員がどのような意見だったかということは、問題ではないと考えます。

市政を問う

～一般質問～



3月定例会での一般質問は、2月20日、21日の2日間、10名の議員が28件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

伊豆市の新エネルギー構想について

(森島吉文議員)

1年前の福島第1原子力発電所の事故、その被害の状況は、脳裏に焼き付き離れません。放射能の問題も解決には程遠いと感じられます。我が静岡県も浜岡原発を身近に抱え、不安感は募るばかりであります。やがてやって来る新エネルギーへの切り替えについて、伊豆市としてどのような構想があるのか伺います。

長弁 市答

伊豆半島エコリゾート タウン推進事業を検討

具体的な構想として、県と伊豆市、熱海市、東伊豆町、河津町で取り組む「伊豆半島エコリゾートタウン推進事業」があります。

事業の目的は、「自然エネルギーを始めとする自然資源を活用し、地域の活性化を図る」ことで、すでに勉強会が開催されています。平成24年度には県、市町と商工会や観光協会、NPOなどの関係団体、学識経験者などで構成する協議会を、それぞれの市町に設置して、導入の可能性を調査しようとするもので、伊豆市においても現在検討しています。

質問

狩野川の防災整備に関して

(大川 孝議員)

台風や集中豪雨等が発生すると、狩野川は増水氾濫し落差が2メートルの嵩田川たけだには100メートル位逆流し、近くの人は水害に遭う恐れがあり怖いと証言しています。対策としては中州の竹林を整備し、満遍なく流れるように護岸整備をする事が喫緊の課題です。また、県道に面した嵩田川放水口等は施工に問題がないのか精査し、県に対し、現場を見て防止策を要望してもらいたいです。

長弁 市答

河川管理者の静岡県に 川床整理・拡幅を要望

議員ご指摘のとおり、河川内に堆積が進んでいます。その下流には民地が存在し、中州となり、竹林が形成されることにより、さらに堆積が進み、左岸側は水がほとんど流れていない状況になっています。

市としては、河川管理者の静岡県に、狩野川の河床整理を要望していきます。

嵩田川についても、嵩田下橋付近の拡幅要望と併せ、要望していきたいと考えています。

質問
脳脊髄液減少症への対応を

(杉山 誠議員)

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷などで身体に強い衝撃を受け、脳と脊髄を循環する脳脊髄液が漏れ出して減少することで、頭痛・めまい・吐き気や倦怠感など様々な症状が現れます。

しかし、認知度が極めて低く、周囲の理解が得られずに多くの人が苦しんでいます。行政や学校の取り組みを伺います。

長井市答
**適切な認識と対応に
取り組む**

脳脊髄液減少症は、現時点では疾患として認められておらず、認知度が低いので、市としては、昨年の2月からホームページに掲載して、情報提供を行うとともに、保健師等が研修会へ参加するなど、取り組みを行っています。

長井市教育長 答
学校においては、児童生徒に症状が疑われる場合については、専門医で受診するように保護者に指導して
ます。

質問
**公費で調査した資料は
公開すべきだと思いが**

(関 邦夫議員)

土肥町時代、八木沢、小下田地区の強い要望で温泉調査が行われたが、土肥地区観光業者の強い反対で結果はいまだに公表されていない。同じ職員に答弁書を作らせたためか、伊豆市になっても前市長は、土地の買占めが起きるから公表できないという、同じ答弁を繰り返した。

対岸に70万人都市があり、この荒れ果てた地区の発展のため、公表すべきだと思いが。

長井市答
**土肥地区の利益を考慮
し、判断します**

調査結果の公表については、市が実施している土肥地区の温泉給湯事業のあり方を含め、どのような対応が最も土肥地区の利益にかなうかを総合的に判断すべきものと考えています。

質問
**子育て応援通学費に
続く無償化の取り組みを**

(木村建一議員)

子供を持ちたい人が持てない状況の重要な要因に、教育費などの子育てコストの増大があります。

子育て応援で伊豆市が「きらり」と光る取り組み。通学費に続いて教材費、修学旅行費などの無償化を提案します。

長井市教育長 答
**保護者の負担軽減を
検討していきます**

現在、教材費、修学旅行費は、保護者に負担していただいています。特に生活状況が厳しい家庭に関しては、要保護・準用保護の就学援助認定制度により、支援しています。

教育委員会は、主に準用保護家庭に対して、学用品費、通学用品費、校外活動や修学旅行費、給食費等について、援助を行っています。

今後、財政的な面や、近隣市町とのバランスも考慮しながら、保護者の負担軽減について、検討していきたいと考えています。

質問

小学校の統廃合

(森 良雄議員)

市長は静岡新聞に、小学校の統廃合を見直すと述べています。「地域の声を聞いて計画が変わることもありえる」。「修善寺地区は1学級20人以上を維持できる」。「4校を1校にする計画はあくまで計画」と述べているようです。間違いありませんか。

今までに、修善寺地区の皆さんの意見を聞きましたか。それはどのように受け取りましたか。

市長
市答

修善寺地区の小学校統廃合は変わりません

教育行政は、市教育委員会の専管事項で、予算措置として具現するという行政手続きについて述べたものであり、法律および条例が変わらない限り、これが変わることはありません。教育委員会の方向が示される前に、具体的な話を、市長が地域の皆さんから伺うことは、ありません。

市長
教育
教答

修善寺地区では、再編計画について区長から要請があり、2地区で説明会を開催し、賛否両論、意見をいただいたところです。

質問

天城会館について

(古見梅子議員)

観光振興にとって、天城会館は重要な施設であり、伊豆縦貫道路が間近に来ようとしている今、廃墟にしてはならないと、昨年の9月議会において、劇場ホールを除いて、伊豆市観光協会天城支部に平成27年3月まで委託することが決まりました。

本年1月2日にオープンした天城ミュージアムの入場者状況と、今後の展望について伺います。

市長
市答想定した入場者です
天城集客を期待します

レゴで作った世界遺産展は、開館1ヶ月で4248人、概ね想定どおりでした。この中には土肥こども園や湯ヶ島幼稚園他の無料入場者738人も含まれます。更なる集客を目指して、観光協会の尽力に期待しています。

今後の展望については、天城地域活性化の引き金としての役割を担うべく、知名度を高め、また、近隣施設との連携を図ることにより、観光客の増加と共に、地域資源の活用や周辺商業への波及による地域の活性化を考えています。

質問

土肥地区の医療問題を
どう解決しますか？

(松本 覺議員)

当地区には1病院3医院があるが、祝・日曜・夜間は医師不在状態となり、診療は受けられない。○持病のある方は休日や夜が怖い。我慢するか、様子を見ながら朝を待つ。○観光産業に大きなマイナス。○消防署業務の圧迫。○救急車の平均時間、現場着7分、搬送37分、出勤時間1〜2時間で、その間他業務はストップ。当直医設置等の解決策を伺います。

市長
市答地域の医師との連携と
国や県に要望します

土肥地区に限定した日曜・祝日・夜間における医師の不在及び診察は、現状決定的な解決策は見当たりません。現在ある医療事業を有効活用し、日ごろから医師と密接な連携を保つことで、予防や治療を行う家庭医療制度の推進を考えています。

また、医師不足等については、国や県レベルでの対応が必要であることから、引き続き地域医療の確保を要望していきます。また、田方消防の救急体制は、現状機能していると思いますが、地域的な格差是正は考えています。

質問

人口を増やす施策について

(内田勝行議員)

「人口減少危機宣言」を発令してから2年半が経過しました。これまで婚活事業・子育て支援・企業誘致・定住促進等人口増に向けた施策を展開していますが難問です。今後「宣言」を解除できるような、一層の努力が求められると思います。

質問します。①新たな施策を検討していますか。②施策を検証していますか。③今後どのように取り組んでいきますか。

市長
市答

今までの施策を継続し、より具体化を図ります

婚活事業で現在までに5組が成婚したようですので、今後も相談員の地道な活動に期待します。また、人口減少施策の変更は必要ないと考えていますので、今まで同様、雇用の創出や所得の向上、定住促進に努めます。

今後は、道路網の整備による企業誘致、若者の起業支援、30代で300万円の年収確保による結婚支援など、具体的な目標設定と施策を考え、定住促進は、他市に追随されないよう、常に新アイデアで対応します。

若者の「今、伊豆市は楽しそうだ」という気風を生かします。

質問

第5期介護保険事業計画の概要について

(梅原泰嗣議員)

標記事業計画で予定されています、特別養護老人ホームの開設について、建設地ですが将来的に関連施設を隣接し施設相互の連携による効率、地域福祉サービスの拠点として発展できる構想の可否について、また開設当初の入所サービスに加えショートステイ、デイサービスの人数とその介護要員確保の対応についてお伺い致します。

市長
市答

天城湯ヶ島地区に特別養護老人ホーム

70床の特別養護老人ホームを天城湯ヶ島地区に建設する予定です。公募により事業者を募り、建設地や事業内容についても、提案していただく考えです。

ショートステイやデイサービスセンターなどの居宅サービスを併設し、地域の介護ステーションとしての役割を担うよう、県からも指示を受けています。

国の基準をクリアすることを前提に、サービスの内容、利用者数については事業者に計画してもらいます。当初は特養とショートステイ程度です。

3月定例会で採択し、関係機関に提出しました。

意見書

「年金支給額減額に

反対する意見書」(要旨)

野田政権は、公的年金支給額を23年度の0.4%減額に続き、24年度も「物価スライド」の仕組みを適用して、減額するとしている。

また、平成12年から14年に自民・公明政権の下で実施された「特例措置」による減額据え置きに対し、本来水準に戻すとして、3年間で2.5%減額するとしている。

これらの措置が実施されれば、新年度の年金支給額は、一気に1%を超える減額となり、高齢者の生活に深刻な打撃となることから、年金支給額の減額を止めることを求める。

【提出先】

内閣総理大臣
厚生労働大臣

平成23年伊豆市議会実施結果

	開催回数	会期日数 (延べ)	本会議日数 (延べ)	傍聴者総数	一般質問	
					日数(延べ)	質問者数(延べ)
定例会	4回	93日	20日	203人	8日	55人
臨時会	3回	3日	3日	2人	—	—

	条例で定めた 委員会の数	実際に開催した 委員会の数	会期中の開催 日数(延べ)	閉会中の開催 日数(延べ)	市外行政視察回数と日数(委員会 としての回数・日数)(延べ)
常任委員会	3委員会	3委員会	15日	3日	3回 9日
特別委員会		2委員会		28日	
議会運営委員会			6日	9日	1回 1日
全員協議会			7日	4日	

提出付議事件		原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回
市長提出付議事件	条例(1号)	20					
	地自法第96条 第1項議決事件	予算(2号)	49				
		決算(3号)	19				
		4~14号	3				
	地自法第96条第1項第15号及び第96 条第2項を含むその他全ての議題	24					
計		115	0	0	0	0	0
議員提出付議事件	意見書	9					
	決議	1					
委員会提出付議事件	規則	1					
	決議	1					

請願及び審査した陳情の件数	採択	一部 採択	趣旨 採択	不採択	取り 下げ	審議 未了	継続 審議	その他	計
請願件数		1	1	1					3
審査した陳情の件数	1			1					2

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

6月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

6月11日(月) 議案上程
14日(木) 一般質問
15日(金) 一般質問
18日(月) 議案質疑
27日(水) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますのでご承知ください。

編集後記

3月15日に、平成24年第1回本会議が終了しました。

ホッととして船原峠を経て帰途につきました。灰色の冬山に、微かなヤシヤビシの緑が春の兆しを感じさせます。

姫沙羅の鮮やかな緑が加わり、この編集後記を書く今は、桜の見頃となります。

しかし、昨年はこの季節の移ろいに気づきませんでした。

昨年3月11日は、一般質問の2日目、私が登壇の直前でした。

長い揺れで議会は暫時休憩、再開後も一問一答、再質問なしと、短くして終了しました。

この時、あの大惨事が進行していたのです。

春の訪れに心を動かし愛でることが「幸」と感じている今です。

副委員長 松本 覺

